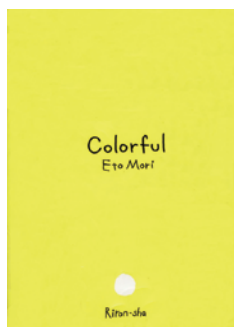


009

家族

理論社

9136



カラフル

からふる

作 森絵都

私が好きな作家のひとりです。この本の内容は、前世で罪を犯した「ぼく」が、天使によって下界に戻り修行、つまり罪をつぐなうという話です。話の内容が斬新で読んでいてびっくりしたり笑えたり。ある意味ファンタジーというような感じがします。「ぼく」は「小林真」という少年の体を借りています。言葉どおり一心同体です。この主人公も中学三年生。すごく親近感が湧きますね。「ぼく」は「真」の運命なんてどうでもいいと思っているけど、いつかそれがぼく自身の運命だと分かったら、きっと新しい世界だと楽しめると思います。／山田東中 すもももももものうち

自分や家族をこれまでと違った視点で見られるようになる本です。

010

家族

金の星社

9136

ハッピーバースデー
—命かがやく瞬間—

はッピーばーすデー —いのちかがやくとき

作 青木和雄 画 加藤美紀

現在、問題となっている虐待によって、声を失ってしまった少女あすか。そのあすかが、周囲の力や環境により、大きく成長していく物語です。辛いことがあっても、自分一人ではないことや、自分の力や周りの力で、人はどんどん大きくなっていけることを教えてください。おすすめです。ぜひ読んでみてください。／川名中 T.I

主人公と自分を重ねて読んだり、力強く生きていくあすかやあすかの周りの人たちに感動したり、親の愛の大切さに気付いたり、多くの人たちから感想が寄せられた人気の一冊です。



011

家族

徳間書店

779

佐賀のがばいばあちゃん

さがのがばいばあちゃん

作 島田洋七

がばい(すごい)ばあちゃんとの明るく奇想天外な貧乏生活を描いています。苦しいけれどもなぜか笑ってしまう物語です。



012

家族

毎日新聞社

9136

手紙

てがみ

作 東野圭吾

強盗殺人犯で弟思いの兄とその影響で周りの人間から差別されていく弟のお話。残酷さと小さな優しさ、絆が感動の一作です。



013

家族

金の星社

9136

レネット 金色の林檎

れねっと きんいろのりんご

作 名木田恵子

原発事故で病気になった少年が主人公の家に来て、バラバラになっていた家族の絆が…。読むと優しい気持ちになれます。

選定委員からの
メッセージ

家族



一番身近で一番小さな社会でありながら、家庭の姿は実にいろいろです。ただ、今の自分があるのはこれまでの家族の存在を抜きにしては考えられません。喜びを分かち合いたいとき、苦しいとき、悲しいとき、落ち込んだとき……あなたにとって家族はどんな存在であってほしいですか。また、家族にとってあなたはどんな存在なのでしょう。親に存在を否定された「あすか」(『ハッピーバースデー』)が立ち直れたのはなぜでしょうか。「小林真」(『カラフル』)が今生で問題を解決できたのはなぜでしょう。また、『佐賀のがばいばあちゃん』は貧乏生活を描いているのになぜ楽しく読めるのでしょうか。

さまざまな家族の姿を知り、家族についての考えを深め、家族の一員としての自分を見つめ直してみましょう。新たな自分が見つかるに違いありません。また、自分を振り返ることで新たな生き方を模索したりするきっかけにもなることでしょう。